



Think Big!

2025 賃金引上げに向けた動きが、 社会で始まっています。全分会で議 論を深めていきましょう!!

- 電機連合(電機、電子、情報関連産業で60万人)
→ 基本給を底上げするベースアップで、月額 17,000 円以上を要求する方向。
- 自動車総連(自動車メーカーの労働組合・78万人)
→ ベースアップ分として月額 12,000 円を水準とする。
- 金属労協(自動車、電機、鉄鋼などの労働組合・200万人)
→ 定期昇給を確保し、ベースアップ相当分として月額 12,000 円以上とする。
- JAM(機械や金属の中小企業を中心とした労働組合・39万人)
→ ベースアップ相当分で月額 15,000 円以上とする。
- 基幹労連(鉄鋼や造船などの労働組合・27万人)
→ 定期昇給分を確保し、月額 15,000 円以上とする。
- UA ゼンセン(繊維業、流通業、サービス業などの労働組合・190万人)
→ ベースアップ分で 4%、定期昇給を合わせると「6%を基準とする」要求の方針。
さらに非正規雇用で働く人には「7%を目安」とする。

マスコミが各企業経営者へ「2025年の経済状況」についてインタビューをする中で JR 東日本・喜勢社長は、「インバウンド需要の好調さが持続し、民間投資の増加による国内の雇用や所得環境の改善によって、内需主導でゆるやかな(国内経済が)成長をする。」と考えており、モノやサービスの価格が上昇する国内のインフレ率を「2.0%」と予想をしています。

業務が複合する施策を社員が担い、社員の“労働力の価値”は高まっています。また、社会的な物価の上昇は今年も続きます。笑顔と働きがいを持てる職場を、春の取り組みで目指していきましょう!!